

contents

- 02 防災訓練・地域連携室通信
- 03 第45回友朋会秋まつり・嬉野温泉秋まつり
- 04 リハビリプログラム「IPPO」の紹介
- 05 ピアサポート協会「きらりの集い」
- 06 標準版家族心理教育研修会
- 07 ご長寿のお祝・朋寿苑ボランティア報告
- 08 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表



防災訓練

東2病棟 看護師長・吉武克彦

平成26年度の防災訓練が9月2日に実施されました。今回は通報連絡、初期消火、避難誘導などに重点を置き実施しています。当院からの訓練参加者に加え、嬉野医療センター、志田病院、嬉野消防署からの視察・見学の方々を含めて総勢304名が訓練に臨みました。

東2病棟からの出火を想定し、初期消火訓練では、屋内消火栓を実際に放水し消火栓の操作や消火方法等を再確認できました。避難誘導については、今回、100名の模擬患者を避難場所まで搬送する訓練を実施しました。東病棟は約8割の入院患者さまが寝たきり状態で、その他も車椅子を使用している方です。そのため、階段を使つての避難誘導は、担架やシート、エアーストレッチャー、車椅子ごとの搬送という手段で体験し、迅速で安全な誘導方法を学ぶ事が出来ました。また、消防署からははしご車を出勤して頂き、屋上からの救助も実践して頂きました。訓練中は、参加者全員が本番さながらの緊張感をもち、訓練終了まで一生懸命に取り組む事が出来ていたと思います。今回の訓練を終え、改めて有事に備えた訓練の重要性を感じさせられるとともに、火災を起こさないための取り組みが重要である事を考えさせられる1日となりました。



地域連携室通信

木枯らしが吹く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。

今回は精神科地域連携室より、受診から入院までの流れについてご紹介させていただきます。

相談から受診・入院までの流れ

1. 予約

受診、入院を希望される方はまず精神科地域連携室までご相談ください。窓口や、お電話でご本人・ご家族、または医療・福祉施設、行政機関等からの受診、入院相談のご予約を受けています。精神科外来の新規患者様の診察は、月曜日から金曜日までの午前中に行われています。

2. 相談

ソーシャルワーカーが相談内容をもとに受診可能な日時をご案内いたします。

3. 受診

ご予約された日時に受診していただく事となります。受診時はソーシャルワーカーが予診を実施し、その後、医師の診察となります。受診時に持参していただくものは、保険証、紹介状、各種障害者手帳等、お薬ノートです。

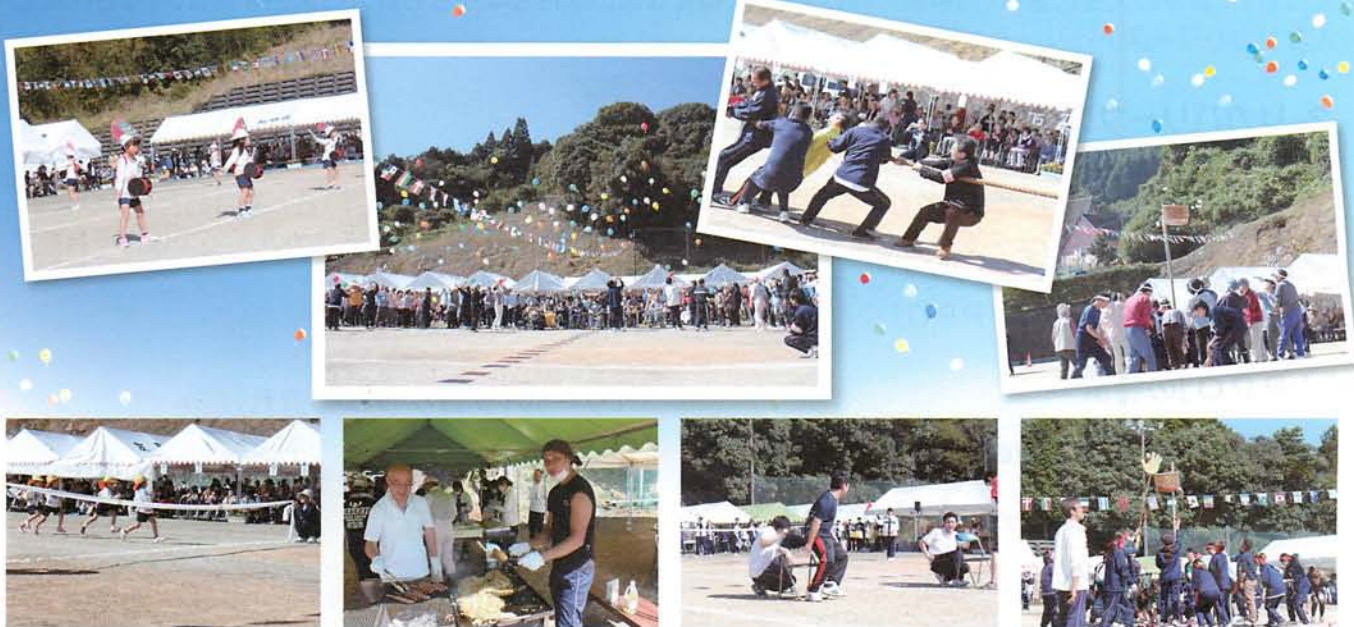
4. 通院、入院

医師の診察の結果、入院治療が必要と判断された場合に入院のご予約となります。そして、入院の調整を行い、入院日をご案内いたします。入院の事前に入院される病棟を見学して頂くこともできます。

連絡先: 0954-43-0157(代表) 精神科地域連携室

第45回友朋会秋まつりが開催されました!

平成26年10月18日(土)、見事な秋晴れの日に関友会秋まつりが開催されました。今回は約400名の方が参加され、大盛況となりました。秋まつりでは毎年、趣向を凝らした企画を考えていますが、今回の目玉企画は「バルーンリリース」であったと思います。300個のバルーンには福島県郡山市の種苗店から購入した花の種を結び付け、参加者全員で被災地への思いを込めてバルーンを飛ばしました。皆、青空に舞うバルーンをいつまでも目で追い、感慨深い気持ちになりました。今後も、参加された方々に楽しんでいただけるような催し物を考えていきたいと思ひます。



嬉野温泉秋まつりに参加しました!!

11月3日文化の日に「嬉野温泉秋まつり」に友志会より参加してきました。昨年はあいにくの天気により中止となりましたが、今年は天候に恵まれ、少し肌寒くはありましたが、素晴らしい秋晴れの中で踊ることが出来ました。今年44名の職員参加で、友朋会は長い列で踊りました。またリカバリセンターほほ笑みからも14名の方が参加されていました。約1時間の間、途中休憩なく、「嬉野ふれあい音頭」「嬉野夢音頭」の2曲を踊り続けました。

道沿いには出店が並び、嬉野の街中は地域の方や観光客の方で大変賑わっていました。約1時間踊り終えた頃には、心地よい疲れと、ほど良い達成感が感じられました。久々にいい運動になったのではないかと思います。また嬉野の良さを再発見できたひとときとなりました。





リカバリープログラム「IPPPO」の紹介

リカバリーセンターほほ笑み 山下美里

1. リカバリーについて

リカバリーとは「精神疾患を持つ人がたとえ症状や障がいが続いても、希望を抱き自分の人生に責任をもち意味ある人生を送ること」。単に病気を回復させるのではなく当事者の「生き方」に焦点をあてるのがリカバリーです。今年大ヒットした「アナと雪の女王」は、涙と笑いの素敵なリカバリーストーリーでしたね♪
だれもが、自分の人生の主演(当事者)。悩みや不安、様々な思いを持ちながらも自分の人生を歩む、みなさんはどんなリカバリーストーリーをお持ちでしょうか？

2. リカバリープログラム「IPPPO」とは

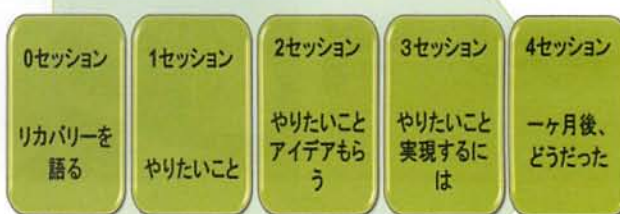
IPPPOはたくさんの方の経験と声を活かして作られたリカバリープログラムです。自分のやりたいことを見つけて(時には思い出し)、大きくても小さくても一歩を踏み出す(リカバリーを促す)ことを目的としています。やりたいことを実行する工夫をみんなに聞いて選択肢を広げます。けれど、何をするのか決めるのは自分自身です。やりたいことがやりたくなくなるそんなワクワクする時間です。

3. リカバリープログラム「IPPPO」

「IPPPO」の特徴

- ①なじみの場・顔見知りの人とできる・10名以下
- ②外部から2～3名のファシリテータが来る
- ③テーマは「やってみたいこと」
- ④行動に焦点をあてる
- ⑤決めるのは本人

1クール(プログラムの流れ)



各90分 (0～3セッション隔週)

4. リカバリープログラム「IPPPO」効果

※リカバリーを促し、セルフスティグマ(自分に対する偏見)を減少させることを示唆。

参考:「精神疾患を持ち地域で生活する人のリカバリーを促すプログラムの作成」

精神障害とリハビリテーション Vol.17 No.2 P76黒髪恵・坂本明子

5. リカバリープログラム「IPPPO」実施

平成25年10月24日～12月7日1クール リカバリーセンターほほ笑みメンバー各回8名参加

毎回外部からファシリテータ来院。リカバリーを語るでは、参加者の経験から病や死等を語り、涙と笑の濃い時間でした。1セッションでは旅行やダイエット、社会復帰等100以上のやりたいこと(図)が出ました。2セッションでは「台所を片付けたい」「自傷行為しない」などをテーマにアイデアを出し合いました。些細なやりたいこと(希望)も表現し、皆が認め合う暖かい空間でした。リカバリーややりたいことを通し、メンバー・スタッフ誰もが自分の人生の当事者、対等な立ち位置で参加できると実感しました。一ヶ月後セッションでは、やりたいことについて行動した方や、しなかったけどいろんなことを考えた等、心の動きがあったようでした。参加者からはIPPPOを通じ、新たな出会いや繋がり、認められる感覚や希望を感じる等の感想が聞かれました。

6. リカバリー全国フォーラム2014

分科会 踏み出す一歩、届ける「IPPPO」

平成26年8月30日(土)東京池袋平成帝京大学にて、久留米大学の坂本明子氏や当事者メンバー(ほほ笑みメンバー含)らと共に、ファシリテータとして出演させて頂きました。参加者50名(7グループ)。私のグループは当事者4名含む7名でした。入院中の方もおられ「この瞬間もリカバリーしています」の言葉が印象的でした。私自身、新たな出会いと繋がりができ人生の一歩に繋がったと感じます。今回、参加させて頂き皆様に深く感謝致します。



〈図〉やりたいこと

ピアサポート協会 2015 きらりの集い in 佐賀

2015年

1月10(土)▶12(祝)

のご紹介

街の中で出会って me you^{み ゆ ー} か！



今回は、友朋会 嬉野温泉病院からも協力して頂いている『ピアサポート協会 きらりの集い 2015 佐賀大会』のご紹介をしたいと思います。

まずピアサポートとは、一般に、同じ悩みや症状などを抱えている、体験・経験の共感者、あるいは同じ立場にある当事者同士が、病だけではなく互いの経験・体験を基に語り、学び合い、リカバリーに向けてサポートを行う相互支援の取り組みを言います。『ピアサポート協会 きらりの集い』は、研修で出会った全国各地の仲間と精神保健福祉におけるピアサポートの魅力大切にしたいと思い、2012年に福岡で誕生しました。『きらりの集い』における「ピア」とは、障害をもった方のみではなく、同じ世界、同じ時代を生活している私達です。立場や垣根をこえ、お互いをありのままに認め合い、大切にしあえる場を作りたいという思いで歩んできました。そして2012年の福岡大会、2013年の鹿児島大会を経て、2014年1月の佐賀大会を迎えます。私は『きらりの集い』に福岡大会から参加し、佐賀大会では実行委員長を務めさせて頂いています。『きらりの集い』のコンセプトは、「出会うことから始めてみよう」です。佐賀大会では、「街の中で出会って me you(み ゆ ー)か!」です。ちなみにこのタイトルは私の上司から頂きました。最近特に感じているのですが、人と「出会う」ってほんと不思議ですね。人と出会うことで、何かを感じ、変化して、動き出す。そのことが未来を創造するように感じるのです。友朋会に出会い、いろんな方々に出会い、本当にありがたく感じています。この場をお借りしまして皆様に感謝をお伝えしたいと思います。またご縁がありましたら『きらりの集い 佐賀大会』でもお会いできればと思います。

報告者 作業療法科 大鋸光郎

標準版家族心理教育研修会 in嬉野に講師として参加して



西5病棟看護師 前田和也／臨床心理科 佐藤公美子

私たちは統合失調症のご家族を対象とした心理教育に、2年ほど前から関わっておりましたが、今回、インストラクター研修を8月に受講し、9月13日・14日の2日間に亘って当院にて開催された標準版家族心理教育研修会in嬉野で講師として参加させていただきました。

当日は九州を中心に、遠くは宮城、名古屋、沖縄などから、定員を超える61名の参加者の方が嬉野の地に集い、2日間ほぼグループワークという盛り沢山のプログラムを受講されました。当院からも、渡辺Dr.をはじめと

した7名が参加し、私たちは『よかったこと探し』(佐藤)と『家族との関係づくり』(前田)という枠で講義を担当しました。

打ち合わせ等を行う中で、他の経験豊かな講師陣から「この講義の中で何を伝えたいのか?」「ワークの中でポイントを押さえて取り組んでもらえるような言葉のかけ方」など、研修を提供する側の思いを明確にしておくこと、講師としてのスキルなど沢山のことを学ばせていただきました。

当院の家族心理教育「オリーブの会」では、「国府台(こうのだい)モデル」という標準化されたプログラムに基づいた支援を行っています。疾患に関する情報提供からグループへの介入、ご家族に対するジョイニング(ご家族の雰囲気になじむ)、ストレングス(ご家族自身の強み)に気づいていただくことなど、参加したご家族への支援を行いながら、私たちの日々の臨床にも役立つスキルを磨くことのできる場だと感じています。

今回、事務局としてこの研修会をサポートして下さったスタッフの皆様、また、懇親会で研修会を盛り上げて下さった、中川理事長をはじめとしたスタッフの皆様、このような有意義な経験をさせていただいたことに、心より感謝申し上げます。



ご長寿のお祝

敬老の日に関で今年も入院中の患者様が表彰を受けられました。

- 9月11日(木):中島タミ様(西3病棟)
- 9月19日(金):高杉ソ子様(中央2病棟)
- 9月24日(水):カ久ふぢの様(西3病棟)

誠におめでとうございます。職員一同心よりお慶び申し上げます。
これからも元気で長生きして下さい。



朋寿苑ボランティア報告

平成26年10月30日に、嬉野小学校から朋寿苑へボランティアに来ていただきました。来られたのは小学生10名で、ボランティア部に所属しているとのことでした。出し物では、「ふるさと」を歌って、それから踊りの「ソーラン節」を披露してもらいました。ソーラン節では利用者さまと一緒に踊る場面も見られ、アンコールもありました。最後に「ふれあい」の時間のなかで、それぞれの自己紹介と握手をする機会を設けたところ、子供達が緊張しながら自己紹介と握手をする姿をみて、利用者さまが涙を浮かべる場面もありました。利用者さまは終始、笑顔であり子供達とのふれあいを喜ばれていました。



診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

*診療時間 ○月曜～金曜
 ○午前の部/8:30～12:30(第1土曜 8:30～12:30)
 ○午後の部/13:30～17:00 ※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

*休診日/第2・3・4・5土曜、日曜、祭日、年末2日、年始3日間
 *予約診療/待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。

平成26年12月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
精神科	新患	精神科一般 谷口 菅高	三根 吉本 中山	谷口 菅高	富松 奥 三根	奥 富松	/
		もの忘れ 吉本・中山	松尾・渡邊	田中・渡邊	松尾・田中	吉本・松尾	
		思春期	富松・三根・菅高				
	再来	富松 松尾	田中 谷口	中山 奥	吉本 中山	三根 菅高 渡邊	第一土曜 予約者のみ
内科		口石	竹下	岡本	林原・口石	榎	第一土曜非常勤医師
泌尿器科	午前	倉富	江原	倉富	江原	倉富	第一土曜予約者のみ
	午後	事前連絡	事前連絡	事前連絡	事前連絡	事前連絡	
透析センター		江原・井上	江原・井上	江原・井上	江原・井上	江原	井上
眼科		崎戸(13時～)	/	崎戸(10時～)	/	崎戸(10時～)	/

*眼科の診療時間 ○月曜日 午後のみ13:00～17:00 ○水・金曜日 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00



医療法人財団 友朋会

〒843-0394
 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
 電話:0954-43-0157
 FAX:0954-43-3440
 E-mail:info@yuhokai.com
 URL:http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症患者医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- 老人デイケアセンター 0954-43-0233
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
〒815-0082 福岡市南区大楠2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F